

松岡心平教授 最終講義

— 世阿弥と一条竹鼻勧進猿楽 —

いちじょう たけがはな

日時：3月13日（金）16-18時

会場：東京大学駒場キャンパス・18号館ホール

* 入場無料・予約不要

問い合わせ先：matsuoka_lecture@chora.c.u-tokyo.ac.jp

表象文化論研究室 TEL：03-5454-6411

松岡 心平（まつおか しんぺい）

東京大学大学院総合文化研究科超域文化科学専攻（表象文化論）教授。2001年より現職。一般財団法人観世文庫理事。専門は能・世阿弥を中心とする中世芸能。能の研究上演団体「橋の会」の運営委員を務めた。2009年10月、研究代表者を務めた観世文庫所蔵能楽資料のデジタル化のプロジェクトが「観世アーカイブ」に結実。これを記念し、東京大学教養学部60周年記念事業の一環として駒場キャンパスで観世宗家による薪能が開催された。著書に『物語の舞台を歩く 能 一大和の世界』（山川出版社、2011年）、『中世芸能を読む』（岩波書店、2002年）、『中世を創った人びと』（新書館、2001年）、『能 一中世からの響き』（角川書店、1998年）、『宴の身体 ーバサラから世阿弥へ』（岩波書店、1991年）。



主催：表象文化論研究室／松岡ゼミ卒業生一同